KUSANAGI

次代につながる選ばれる街へ

みんなで作ろう

選んでよかったと思えるこの街を

CULTED

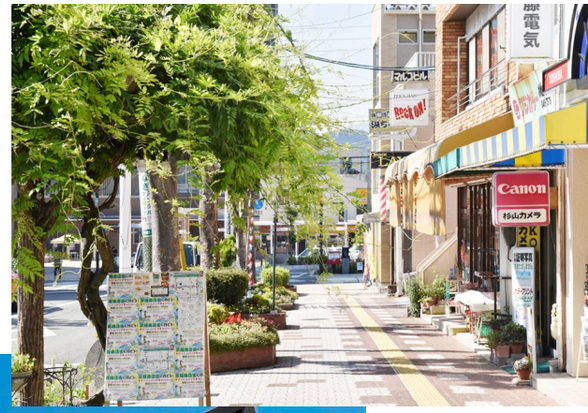
草薙 Culted

お問い合わせ
info@kusanagiculted.or.jp
070-1616-4055

【発行日】2023年6月 【発行】一般社団法人草薙カルテッド

WEBサイトはこちら
草薙カルテッド
kusanagiculted.or.jp

REPORT 2022 活動報告書



誰もが主役になれる街

たくさんの挑戦と応援が生まれ笑顔溢れた草薙の街。

共に歩んできた草薙カルテッドから1年間のご報告です。

Kusanagi City

一般社団法人草薙カルテッド
都市再生推進法人

ABOUT

草薙駅周辺に住む人、来る人、みんなが主役

草薙カルテッドは2017年に
地元自治会や商店会メンバーが中心となって設立されました。

地元まちづくり検討会議で策定された「まちづくりビジョン」の
実現を目指し、まちづくりの担い手として、産学官民の連携を促進し、
賑わい、魅力度、住みやすさアップ、地域課題の解決等
まちづくり活動の相乗効果を生み出す団体です。

住民・商業者・来街者等に価値のあるサービスを提供することを目的に、
行政や周辺企業、大学等とも連携をしながら、
駅前広場や公共施設の利活用、イベント等の企画・実施を行っています。

まちづくりビジョンとは？

緑につつまれながら ～「緑」と暮らす街～
人々に安らぎを与え
心と体の健康を育む
緑あふれる街

知を創造する ～「文教」の街～
文化を次世代へ
継承する取り組みを進め
魅力向上を目指す

ほっとする ～「安心・安全」な街～
防災性や防犯性を高めて
誰もが安心できる
まちづくりを目指す

コミュニティを、未来へ ～「にぎわい」のある街～
つながりを生み
コミュニティを育む
「にぎわい」ある街

このようなビジョンを達成していくため、日々活動を行っています。
みなさんの繋がりを作っていくための交流拠点である
コラボレーションスペースTaktの運営は、学生と一緒に行っています。

草薙カルテッドは、様々な事業を通し、
人と街を繋ぐ活動を行っております。

01 賑わい事業 P8.9

02 文化・教育事業 P10.11

03 安全・安心 住み良さ事業 P12.13

04 産学官民連携 プロジェクト事業 P14.15

CONTENTS

- 草薙カルテッドの歩み ～Activity Report 2022～ P4-7
- 賑わい事業 P8.9
- 文化・教育事業 P10.11
- 安全・安心住み良さ事業 P12.13
- 産学官民連携プロジェクト事業 P14.15
- その他のNEWS＆TOPICS P16.17
- ごあいさつ P18
- 賛助会員のご案内 P19

Activity Report 2022 草薙カルテッドの歩み

前編

4 April

4/2

▲ JR草薙駅北口芝生広場がリニューアルオープン
行政や大学、地域の皆様とオープニングイベントを実施

▼「新都市」4月号や
「みんなのまちづくりNOTE Vol.9」に
草薙カルテッドの取り組み掲載

5 May

◀ 静岡サレジオ小学校での講話や、
まちづくりの授業との連携がスタート!

6/17

▲ 静岡サレジオ小学校
3年生のまちづくり授業の
発表会

6 June

▼ 静岡市公式LINEチラシ制作

6/14 静岡市立大里中学校 ディスカッション 協力

6/24 草薙カルテッド会員交流会 第1回 開催

7 July

7/7 静岡県立駿河総合高等学校
パネルディスカッション 参加

7/23 草薙カルテッド会員交流会 第2回 開催

7/27 静岡県立大学 国保研究室
「SOCIAL PROJECT ACTION」へ参加

8 August

8/21

つながるくさなぎ 夏フェス 共催

8/6 「第４次静岡市総合計画
策定シンポジウム」登壇

8/26 草薙Picnic Day 開催

8/27 まちづくりサロン 第1回
キックオフイベント 開催

8/25

▲ 防犯カメラ付き自販機の運用が再スタート!

9 September

▲ 9/25～約1ヶ月間　台風15号の被害を受け
給水所の設置（JR草薙駅南口・北口広場にて）

9/12.13.16.21 静岡市企画課主催
「学生×企業×SDGsの今とこれからを考えよう」の
運営

▲ 9/28～9/30
循環型シャワーの設置
（JR草薙駅北口広場・JR清水駅東口広場にて）

SPRING

SUMMER

掲載は一部です。その他にも様々な イベントや活動を行っております。

Activity Report 2022 草薙カルテッドの歩み 後編

October 10

10/23 まで

▲ 9/4～10/23
草薙謎解きウォーク商店街編Ⅲ ～爆弾を解除せよ～ 開催

▼ まちづくりサロン 第2回（WEB開催）
「これからのまちの景観を考えよう」開催

10/7

10/16

カリヨン書店主催
草薙ほのぼのDAYの
開催支援
駅前でお茶の提供を行う

10/29 うど☆ハロウィン開催

November 11

地域コラボプロジェクト 主催 Kusaフェス 開催支援 ▼

11/19

11/3 新人Hソケリッサ！
くさなぎ劇場 開催協力

11/4 Cheers ～クリスマスマーケット～ 会場提供

11/5 まちづくりサロン 第3回
「子どもたちから学ぶこれからのまちづくり」開催

11/6 チームゆらプロジェクト始動

11/11 HELLOくさなぎ No.9 発行

11/26 WAN！コインマルシェ（ワンちゃん向けイベント）
会場提供

AUTUMN

December 12

12/17

▲ つながるくさなぎ冬フェス 共催

12/17 SDGs防災フェス 開催協力

12/23

▲「中部ブロック・インフラメンテナンス
市区町村長会議」登壇

January 1

▲ 1/19～1/21 商店会主催
草薙フォトコンテスト展示会 開催支援

1/27

まちづくりサロン 第4回
「私たちの地域の安心・安全って
だれが守ってくれているんだろう」開催

February 2

2/25

▲ 静岡発！学生が主役の地方創生プロジェクト
発表＆交流会の開催支援

◀ 学生団体 Con-Takt 主催 足湯プロジェクト 実施

2/4 雪マルシェ ゆきやこんこ 会場提供

2/14 しっぽっちマルシェ（ワンちゃん向けイベント）会場提供

2/17 草薙商店街通りPR動画撮影 開催協力

2/18 まちづくりサロン 第5回
「草薙らしい賑わいのあるまちづくりを考えよう」開催

2/20 カリヨン書店主催 おしるこ VS コーンスープ 会場提供

March 3

◀ 3/12
HELLO
くさなぎ
No.10 発行

掲載は一部です。その他にも様々な イベントや活動を行っております。

01 賑わい事業

2022年からキッチンカーや露店の出店が増加！

駅前の公共空間の利活用

JR草薙駅の南口イベント広場と北口芝生広場の運営管理を行っております。
イベントの開催、キッチンカーの出店、災害時の物資供給場所など様々な形で活用されました！

北口芝生広場がリニューアルOPEN

R4年度4月に北口芝生広場がリニューアルオープンし、記念の式典＆イベントを実施。

広場が活用された日数 230日

キッチンカーの出店やイベント開催で活用されました。

地元飲食店が駅前バルイベントを定期開催

毎週土曜日にビアガーデンが開催され恒例イベントとなりました。

南口の交通量を活かしたイベントを実施

静岡県立大学茶学総合研究センターと学生・大学内の書店が連携し駅前でお茶が楽しめるイベントが開催されました。

広場のメンテナンスや駐輪場のトイレ清掃

自治会長や地元の方と連携し、芝生のメンテナンスやトイレ清掃を行っています。

interview

草薙商店会　会長　伊藤 睦

色々なイベントを通し、活気ある草薙に向け一歩一歩前進している「ワクワク感」と、商店会・自治会・文教施設・学生・地元企業との「繋がり」を増々感じています。
商店街の改修工事には4年程掛かり様々な困難も発生するでしょうが、官・民一体で描いた将来図には新しい「草薙」への期待感が満載です。
今後共宜しくお願い致します♪

元楠自治会　自治会長　杉山 昭

人に喜んでもらえたり、気持ちよく過ごしてもらえればなと思って広場のメンテナンスをしています。『芝は私が刈りますので、草はみんなで抜きましょう』
そこを通ったら1人1本 雑草を抜く
「1人1本運動」なんていいかもしれないですね。

イベントの開催・支援

大学生が主催の「Kusaフェス」
11/19(土)学生団体地域コラボプロジェクトと清水桜ヶ丘高校が共催した音楽フェスの開催支援を行いました。大学生や高校生による様々なパフォーマンスが披露されました。

年2回行われる「つながるくさなぎフェス」
8月・12月に地元の有志団体つながるくさなぎ実行委員会によるイベントが実施され、その開催支援を行いました。夏は約8,000人の来場があり、地元の方に限らず多くの方の来場がありました。

JR草薙駅の広告運用

都市利便増進協定の中でJR草薙駅の交通広告を管理し、その収益は街のために活用しております。

地元の企業や教育機関と連携し、広告の掲載を行っています。広告の中には、大学生が企業と連携して制作を行ったものもあり、学校で学んだことを実践する場としても活用いただきました。
掲載企業の方から「普通に広告を出すよりも、学生さんと連携して作ったことでより意味のある広告になった」とコメントをいただきました。

草薙商店会と連携した商店街通りの改修にむけた取り組み

ストリートデザイン調整会議等に参加

R5年度から始まる商店街通りの改修工事に向けて、草薙カルテッド事務局メンバーが会議に参加し、地元商店会、自治会の方と意見交換を行いました。

フォトコンテスト・展示会の開催支援

商店街通り改修を経て生まれ変わっていく草薙が、より前向きに進んでいくために、今の景観や思い出の写真を集めた展示会の開催支援を行いました。

静岡県立大学地域コラボプロジェクト

初めてイベント主催の挑戦をした「Kusaフェス」では、準備の際に多くの方から応援や協力をいただきました。私たちの"やりたい"に真剣に向き合ってくれた草薙の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

活動・繋がりを通して、自分にとっての"草薙"がどんどん変化しています。
これからも皆さんと一緒に楽しみたいです！

02 文化・教育事業

小学生ならではの発想で
お花の種を配りました！

■ 教育機関と連携した取り組み

サレジオ小学校と連携し、3年生のまちづくりアイデアを実現

星美学園 静岡サレジオ小学校の3年生が草薙のまちのためにできることを考え実践する授業に4月から約半年間携わらせていただきました。開催までには4つの周辺自治会に連携いただき準備を実施。
当日は歌やダンスを披露したり、花の種を配るなど小学生ならではの発想でまちを盛り上げてくれました。

【主催】静岡サレジオ小学校3年生 【時期】2022年10月12日

静岡県立大学 国保研究室と地方創生を学生に広げる活動を実施

地方創生に取り組む人材を作っていくため国保ゼミの学生と連携し、ワークショップや交流会を実施しました。
延べ100名近い方にご参加いただきました。

【主催】公益財団法人日本生産性本部
【企画】静岡県立大学 経営情報学部 国保ゼミ
【後援】静岡市／静岡銀行 【時期】2022年10月～2023年3月

静岡サレジオ小学校
教頭　青野 雅子

「草薙のまちの魅力を知って、さらによくしたい」、草薙カルテッドの方の講話を伺い、そう感じた3年生の子ども達。自治会やカルテッドの方々のご協力を得て、自分たちの考えを実現できたのが「子ども秋まつり」でした。
地域の一員として参画できたことに子ども達は大喜びし、「周囲の環境をいかしてまちはつくられる」と実感していました。
草薙カルテッドの皆様に感謝申し上げます。

interview

静岡県立大学　経営情報学部　准教授　国保 祥子

草薙カルテッドさんにはゼミでのプロジェクト学習のコーディネーターをお願いしましたが、学生達の主体性を損なわない形で企業様とのコミュニケーションを支援したり、リスクを回避したりというやり方が絶妙でした。学生への学習効果と企業様の高い満足度の両立は簡単なことではありませんが、企業のことも学生のこともよく知っているカルテッドさんだからこそ実現できたと思っています。

小中一貫コミュニティ・スクールに事務局スタッフが参加

R4年度から静岡型小中一貫教育がスタートしました。コミュニティ・スクールは学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域と共にある学校づくり」を進めるためのものです。事務局スタッフも清水第七中グループに参加をさせていただき、定期的な情報交換や中間支援組織としてやれることを検討しています。

【主催】清水第七中グループ（清水第七中学校・清水有度第一小学校・清水有度第二小学校）【時期】R4～R5年度

■ 教育機関での講和

呼んでいただいた各学校・団体様ありがとうございました。

小学校～大学等で草薙地区の取り組みや社会人講和などの機会をいただきました。

R4/5/11(水)	静岡産業大学　職業講話
R4/5/16(月)	静岡県立清水西高等学校　職業講話
R4/5/17(火)	静岡サレジオ小学校　職業講話
R4/5/25(水)	静岡市立清水有度第二小学校　職業講話
R4/5/27(金)	静岡県立静岡東高等学校　職業講話
R4/6/14(火)	静岡市立大里中学校 ディスカッション
R4/6/17(金)	静岡サレジオ小学校3年生　発表会
R4/7/7(木)	静岡県立駿河総合高等学校・パネルディスカッション 登壇
R4/7/11(月)	静岡市立清水有度第一小学校　職業講話
R4/10/18(火)	静岡市立清水第七中学校　職業講話
R4/10/24(月)	静岡市立清水桜ヶ丘高校　職業講話
R4/11/7(月)	静岡県立清水西高等学校　職業講話
R4/11/11(金)	静岡県立静岡東高校アイデアの好評

■ 地域の歴史を知れる「草薙謎解きウォーク」の開催

9/4(日)～10/23(日)にかけて、謎解きをしながら商店や地域の歴史を知ることができる「草薙謎解きウォーク商店街編 III ～ 爆弾を解除せよ～」を開催しました。

期間中にチャレンジシートを購入すればいつでも挑戦できる企画で、10/10(月)には他イベントと連携して、タイムトライアルのイベントも実施しました。
シートは駅前広場や商店街店舗で購入できる仕組みになっていて、期間中には約200名の方にご参加をいただきました。毎年1回定期開催をしており、2022年で5回目となります。

■ 地域の情報誌「HELLO くさなぎ」の発行

毎年発刊を続けているHELLOくさなぎ。R4年度はNO.9と10が発行されました。
自治会と連携して、回覧板等で有度地区約12,000世帯に配布がされます。
記事の取りまとめは草薙カルテッドの会員の方が中心となり、有度地区で活躍する人材やイベントを取り上げています。R3年度から全体デザインに有志の大学生にも参加いただいております。
こういった情報発信を通じて、地域への愛着を向上させていくための取り組みを継続しています。

有度連合こども会　会長　栗田 宏昭

草薙謎解きウォークやHELLOくさなぎの発行に関わっています。草薙の歴史の深さや、そこに関わる方たちの熱い想いにいつも感心させられます。謎解きに参加した方たちの意見でも、草薙の良さを再発見したという感想が多く寄せられました。キャパシティの広いこの街のことをもっと多くの皆さんに紹介していきたいと思っています。

03 安全・安心住み良さ事業

■ 防犯カメラ付き「地域防犯支援自販機」の運用

2019年よりダイドードリンコ株式会社、ふじのくに未来財団の協働によって運用しています。
販売額に応じた手数料が支払われ、電気代等の経費を差し引いた残りが収益となるモデルで、自販機の売上から防犯カメラの電気代等もまかなわれています。

ここでドリンクを買うことが地域の安心安全に繋がるという消費者の共感を得ることで社会貢献意識も高まり、だれにも無理なく運用することができる仕組みとなっています。

■ 子育て世代向けイベントの開催

8/26(金)と9/9(金)には乳幼児のお子さんと保護者に楽しんでいただこうと企画したイベント「草薙 Picnic Day」をJR草薙駅北口芝生広場で開催しました。

R3年度に大学生と連携して行った地域の子育て世代のニーズ調査も踏まえ、子育て世代の意見を拾う場としても活用しました。

■ 静岡市住民アンケートへの協力

静岡市が京都大学経営管理大学院官民協働まちづくり実践講座、一般財団法人森記念財団都市整備研究所と共同で進めている調査に事例提供という形で協力を行いました。

エリアマネジメント活動と地域社会の生活満足度などとの関係性を明らかにする調査で、R3年度とR4年度の2カ年にわたり実施されました。

■ 関係者と共に、地域の安全安心を考えるサロンを実施

地域の安全安心に資する多くの役割を、既存の自治会などの団体に担ってもらっていること、社会情勢や住民意識の変化から、既存の組織や仕組みが立ち行かなくなっている現状について意見交換しました。

R5年度も引き続き「子育て世代」「地元企業の現役世代」「学生世代」など様々な地域の関係者と共に、草薙カルテッドならではの解決策へ向け取り組んでいく予定です。

■ 台風15号による被害の対応

24時間利用できる給水スポットの設置

災害発生2日後の9/25(日)よりJR草薙駅南口イベント広場と北口芝生広場を活用し、必要な人と届けたい人が24時間活用できる給水スポットを展開しました。
500mlのペットボトルを推奨し、通勤通学時に気軽に支援できる仕組みとなりました。

東大発ソーシャルベンチャーのWOTA様の協力のもと、循環型シャワーの試験運転

9/28(水)、水道水が不要な循環型シャワーの入浴設備をJR草薙駅北口芝生広場に設置しました。
静岡市清水駅周辺整備課と連携し、JR草薙駅北口芝生広場で試験運転を行い、JR清水駅やさらに被害が甚大な地域へと展開していきました。

静岡新聞でも取り上げていただきました。

台風被害 各地で助け合い

清水区断水 生活用水や飲料水提供

草薙駅

駅利用者ら水持ち寄り

静岡市清水区の「まちづくり」に取り組む一般財団法人「草薙カルテッド」が、JR草薙駅南口・北口で水の無料配布を行っている。台風15号の影響で続く断水への対応で、駅利用者や近隣住民などが持ち寄る水や、生活用水などを提供する。

区内の一部で断水などが発生して全面的にインフラが止まっている状況に実際に出ているなかで、ペットボトルの話題が知り渡り、自分たちで何かできないかと思った。SNSなどを通じて呼び掛けた。

飲料水を求めて来た井戸次、飲料水を集め、住民に無償で配布している。20日に始めた活動は、まだ続けていきたい」と話す。（経済部・平野慧）

大量に集まった水を配布する小林さん（右端）＝静岡市清水区

台風被害対応 官民で全力

ＪＲ草薙、清水駅前

無料のシャワー入浴設備

断水中の市民に開放

台風15号の影響で、断水を受け、県内外の自衛隊員らが28日、静岡市清水区のJR草薙駅と清水駅前に無料のシャワー入浴設備を多数つ整備した。断水が解消するまでの間、市民に開放する。

断水の「WOTA」のエンジン（浜松市中区）が担う。WOTAは一体型の循環式システムを用い、東日本大震災で実績のある会社「北斗」（北区）の提供する仮設トイレ、脱臭所を備えた屋外テントセットの中でシャワーを浴びられる。

現場の運営は、一般社団法人「草薙カルテッド」と、静岡市清水区の「まちづくり」に取り組む一般財団法人「草薙カルテッド」が、JR草薙駅南口・北口で水の無料配布を行っている。台風15号の影響で続く断水への対応で、駅利用者や近隣住民などが持ち寄る水や、生活用水などを提供する。

同法人（倉敷市）の小林拓介さんは「できることから支援したいという人たちを集め、断水の終了まで続けていきたい」と話す。（経済部・平野慧）

脱臭所付きのシャワーテントを備えた無料の入浴設備を設ける関係者＝静岡市清水区のJR草薙駅前

interview

静岡県立大学　3年生
鈴木 志歩

私も含め、9月の台風による被害で生活に困っている人が多いということは想像がつきました。
ですが、自分から進んで何かしようと思える人は少なかったと思います。
そこに手軽に準備できるペットボトルを推奨してもらったことで、多くの地域住民が長期にわたって支援の手を差し伸べてくださいました。
学生の声にも耳を傾けてくれる草薙の温かさに救われる1カ月でした。

有度連合　自治会長
花崎 年員

草薙カルテッドは台風15号による被害対応でJR草薙駅前の広場で水の寄付集めと配布を行い、各方面から感謝の声が届けられました。
災害時における助け合いや、できることをすることで地域と共に活動ができる喜びを感じますし、草薙カルテッドの飛躍がみえてきたと思います。

04 産学官民連携プロジェクト事業

静岡市公式LINE 道路損傷等通報システム 広報チラシ作成

静岡市建設局 × 常葉大学 造形学部の大学生

地元の大学生と連携してチラシの制作を行いました。参加した学生と振り返りを行ったところ「依頼をしてくださった方と自分のデザインが乖離しないように、コミュニケーションを取ることがとても大切だ。」という気付きがあったそうです。

SDGs学生レポーター事業

静岡市企画局 × 6大学8名の大学生

静岡市内でSDGsの取り組みを推進する企業・団体を学生が取材し広く発信をすることを目的とした事業で、最終的には座談会を4回開催し、SDGsの取り組みを様々な人に共有する機会を作りました。

【ご協力】静清信用金庫 / 松坂屋静岡店 / 静岡よみかえる工房 / 株式会社 CSA不動産

地元飲食店のPR動画制作

地元飲食店 × 大学生

草薙商店街の飲食店「カフェ＆バー allegro assai（アレグロアッサイ）」から依頼を受け、大学生が店舗のPR動画を制作しました。2名の学生がそれぞれ15秒の動画を制作し、現在その動画はコラボレーションスペースTakt内で放映しています。

interview

常葉大学　地域貢献センター

R4年度は、草薙カルテッド様からお声掛けいただき、
JR草薙駅前商店街の記念動画撮影に参加させていただきました。
また、台風15号で被災し、市内で断水が発生した際には草薙駅前でのお水配布活動に本学も協力させていただきました。
学生・教職員にとって、“地域を知る”貴重な学びの機会をご提供いただき、大変感謝しております。

JR草薙駅前初！学生主催の足湯プロジェクト

大学生 × 地元企業 × 焼津市

12/17(土)と2/25(土)に学生団体Con-Taktが主体となってJR草薙駅南口イベント広場で焼津市の温泉を活用した足湯イベントを実施しました。

【ご協力】有限会社草薙オートサービス / 株式会社アキヤマ / 草薙神社龍勢保存会

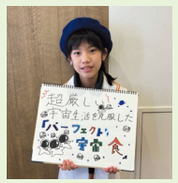
Con-Takt 共同代表　榛葉 伊緒里（写真 左）/ 佐藤 葵（写真 右）

Taktの運営を通じて様々な方と関わる中で、協力してつくり上げる大切さ、思いを形にする大変さを学びました。こうして多くの方と関わり、経験させていただけることに感謝しています。
人々の思いが掛け合わさり新たなアイデアが生まれた時、Taktが楽しい空気で満ちた空間になります。みんなのやりたいことが実現する街になるように、こんな空間を増やしていきたいです。

チームゆらプロジェクト

小学生 × 大学生 × 地元企業

清水地区の小学校に通う小学生の「宇宙食を作って実際に採用されたい」という夢に共感した大学生6人と社会人3名がクルーとなり「チームゆら」として12月に活動がスタートしました。



チームゆらプロジェクト　増田 結桜

たくさんの大学生さんがチームゆらに参加してくださって、他の大学に通う方々同士が、チームゆらを通じて、仲良くしてくださっているのも嬉しいです。
たくさんの人のご協力があって、私が支えられ、前に進めていることを再度実感しました。
携わってくださる皆さんが、私のような子どもでも優しく支援してくださり、本当にありがとうございます。これからも宇宙日本食の認証に向けて、ご支援よろしくお願いします！

静岡市　企画課　移住・事業推進担当課長　大石 誠

草薙カルテッドを一言で表すと「地域と〇〇の架け橋」。
〇〇には、学生、企業、自治会の方々など、まちづくりに欠かせない様々なパートナーが入ります。
草薙カルテッドとの連携により、新たな繋がりが生まれるとともに、事業に伴走支援していただいたことで、参加された皆さんも安心して取り組むことができたと感じています。

05 その他のNEWS＆TOPICS

視察・講演・メディア等 実績

草薙カルテッドでは地元商店会や自治会、行政、大学など様々な団体と連携した事業展開を行っております。その中で視察や登壇のご依頼をいただくことがR4年度は増えました。これからも地域の情報を様々な場所で発信し、草薙地区の魅力発信の機会を増やしていければと思っております。

R4/4	公益財団法人都市計画協会の「新都市」4月号に掲載
R4/5	認定NPO法人日本都市計画家協会の「みんなのまちづくり NOTE VOL.9」に事例掲載
R4/6/20(月)	森記念財団・京都大学 住民結果 共有
R4/6/29(水)	国交省とMINTO機構の関係者様 来訪
R4/6/30(木)	中部地方整備局 来訪
R4/8/6(土)	第4次静岡市総合計画策定シンポジウム パネルディスカッション 参加
R4/8/10(水)	静岡市長 来訪
R4/9/6(火)	ICLA キックオフイベント ゲストスピーカー
R4/7/2.30.9/17	UDOまちづくりベース 協力
R4/11/4(金)	市民活動人材育成講座での登壇
R4/12/23(金)	中部ブロック・インフラメンテナンス 講習会での特別講演を担当
R5/1/20(金)	都市再生整備計画中間評価の視察対応
R5/2/3(金)	岐阜県大垣市からの視察対応
R5/2/5(土)	福島県須賀川市「公共空間利活用に関する講演会」登壇

プロジェクト型インターンシップ「DAISY(デイジー)」の共同企画

NPO法人ESUNEと共同開発

大学生が企業・NPO・自治体の方々と共に「つくりたい未来」に熱中できるプロジェクト型インターンシップDAISY(デイジー)を企画・運営しました。
株式会社アルバイトタイムスのインターンの設計を学生が実施。

まちづくりビジョンの新規作成に向けて検討開始

まちづくりビジョン特設ページはこちら

R4年度から国土交通省の「官民連携 まちなか再生推進事業」の補助金をいただき、JR草薙駅周辺のまちづくりビジョンの検討をスタートしました。

まちづくりサロンの実施

草薙に関わる皆様と、草薙地区の10年後を考える場です。
これまでの活動を振り返りながら、これからどんなまちにしていきたいかを気軽に楽しく話せる会です。全5回で毎回違ったテーマで実施しました。

第1回　キックオフイベント
地域の皆様と草薙の10年後のあるべき姿についてご飯を食べながら語り合いました。

第2回　これからのまちの景観を考えよう
常葉大学 造形学部の土屋先生から草薙の地形に関してレクチャーをいただきました。

第3回　子どもたちから学ぶこれからのまちづくり
サレジオ小学校を会場に子どもたちと話し合いました。

第4回
私たちの地域の安全・安心って誰が守ってくれているんだろう？
防災、交通安全、防犯などに取り組む方のお話を伺い、どうすればそういった活動を継続できるか話し合いました。

第5回　草薙らしい賑わいのあるまちづくりを考えよう
草薙の賑わいを積極的に作っている方をお招きして、賑わいのあり方について話をしました。

社会実験の実施

静岡県立大学 経営情報学部 渡邉研究室にご協力いただき、JR草薙駅の南口・北口の人流調査を行いました。

interview

静岡市　清水都市整備課
課長　瀧 康俊

当課は草薙カルテッド立ち上げ前から関わっているため、“連携”というより、“共創”を進めてきた印象です。都市再生推進法人という行政のパートナーとして、地域が主体のまちづくりの“原動力”となり、地元ならではのアイデアと実行力が生み出す様々な活動は魅力的と感じます。“次代へつながる選ばれる街へ”持続可能な活動により、更なるまちづくりに期待します。

工学院大学　建築学部
まちづくり学科　教授　遠藤 新

現在、草薙まちづくりの次のステップに向けた「ビジョン」を作成中です。R4年度は「まちづくりサロン」に多くの人たちに参加していただき、ビジョンのヒントになる色んな夢のある意見交換ができました。子どもたちがサロンに参加してくれたことも良かったと思います。彼ら彼女らが大人になる頃に、草薙は今よりもっと魅力的な街になっているでしょうか。身が引き締まる思いです！

静岡鉄道株式会社
動産住まい事業部　部長　鈴木 誠

交通利便性が良く、教育・文化、自然環境も備わった住環境の草薙。10年後を見据えたまちづくりビジョンを策定する上で最も大切な事は、地域の人々の関わりだと思います。
草薙には、熱い想いを持った方々が大勢います。
草薙カルテッドが中心となって、皆で、魅力的で、夢のある草薙の未来を描いて参りましょう。

ごあいさつ

共同代表

花崎年員

草薙駅周辺において新しい社会システムを構築するにあたり明確なビジョンを作る必要があります。
草薙カルテッドに対する期待度も増える中で、公の役割、共助の役割、具体的な行動計画などを立てながら、私も全力で取り組んでいきたいと思います。

共同代表

山本洋平

草薙カルテッドでは、それぞれの立場の多くの仲間と共に、これまで「まち」の基盤を作り上げてきました。
これまでの取り組みをベースとして、各々が描く素敵な「まちの未来」を実現していきます！

事務局

田口公一

気づけば娘もそろそろ有度二っ子。
皆さんとより良い有度・静岡にできればと思ってます！

私も広場出店者のひとりです！
ぜひ広場に遊びに来てください。

事務局

望月麻里子

事務局

小林祐介

いろんな関わり方と
楽しみ方がある街にして
いけると嬉しいです。

事務局

西美有紀

このまちに住んで、
来て良かった！とみんなが
思える地域を目指してます！

Con-Takt 学生代表

佐藤 葵

Taktが、憩いの場として
利用し続けてもらえたら
良いなと思います！

Con-Takt 学生代表

榛葉伊緒里

地域・学生・企業が繋がれる
Taktをよろしくお願いします！

活動と共に多くの
仲間が増えた1年でした！

KUSANAGI

草薙カルテッドでは、
賛助会員を募集しています！

草薙カルテッドの活動に賛同し、応援してくださる方は、
賛助会員として仲間入りしてくださると嬉しいです！

＼ 地域の新しい価値を一緒に創っていきませんか？ ／

個人の方

年会費 3,000円 ／ 学生 500円

※ 年度ごとの更新です。年度途中で入会しても月割りなどはありません。
※ 学生は30歳以下の高校生・大学生・短大生・大学院生・専門学校生が対象です。

POINT

会員特典
- 会員同士情報交換ができ地域の情報を得られる・自分の活動を発信できる！
- 地域と関わる幅が広がる！
- JR草薙駅前広場を定価の約半額で使える！
- カルテッドが運営する「コラボレーションスペース Takt」を利用できる！（学生は無料）

企業様

年間 1口 10,000円～

金額に応じて特典が変わります。

※ 年度ごとの更新です。年度途中で入会しても月割りなどはありません。

POINT

会員特典
- 草薙カルテッドやコラボレーションスペース TaktのHP・Takt 施設内へのロゴ表示
- 有度地区の地域情報誌（HELLOくさなぎ）へお名前掲載
- Takt 施設内での企業PR動画放映

など

※ 従業員や構成員の方もご利用いただけますが、2人目以降は登録・管理手数料としてお1人につき500円いただきます。また、新規で利用される従業員の方には、事前に30分～1時間程お時間をいただき目的の共有をさせていただいております。

ご不明点や質問などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

草薙 Culted

お問い合わせ
info@kusanagiculted.or.jp
070-1616-4055

入会申請
フォームはこちら☞